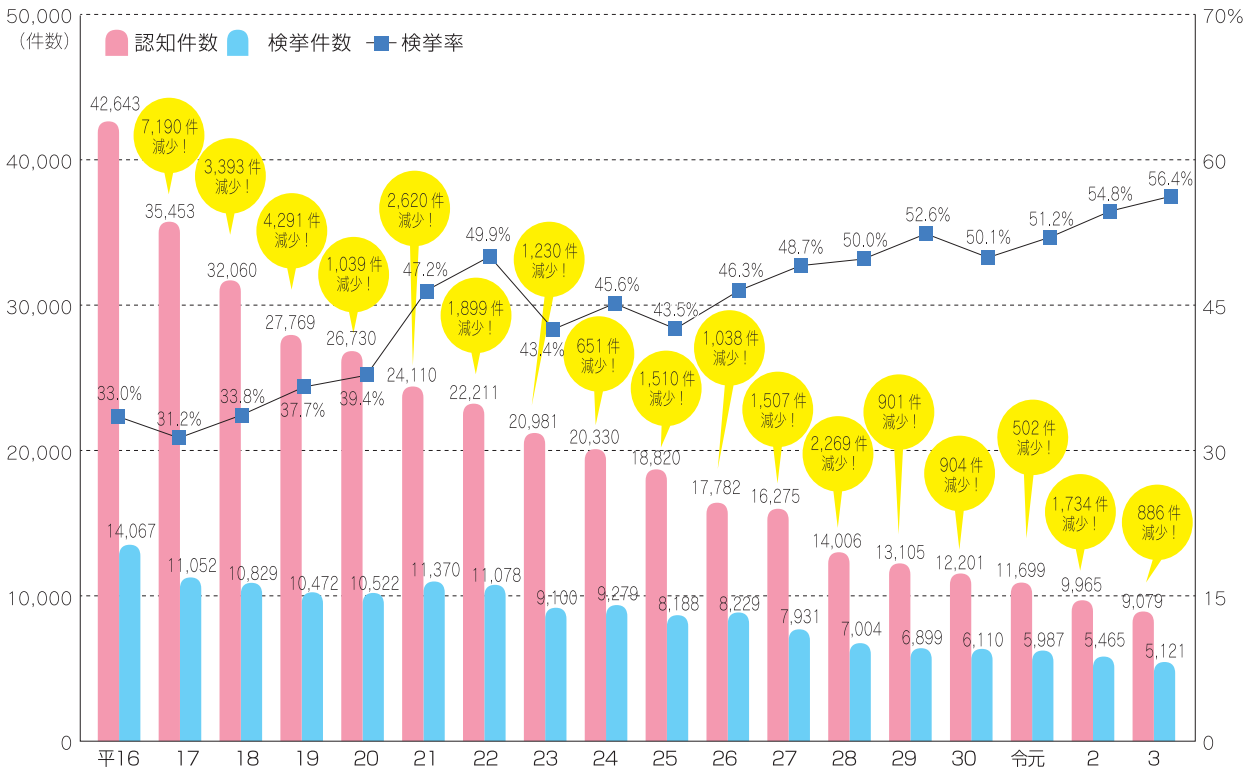


■本県の犯罪情勢（刑法犯認知件数、検挙件数、検挙率の推移）



令和3年の県内の刑法犯認知件数 9,079 件

- 平成17年から17年連続して減少
- 犯罪の前年比減少率は8.9%
- 人口10万人当たり認知件数464件は、全国47都道府県中10位（前年も10位）
- 令和3年の検挙件数5,121件、検挙率56.4%

※刑法犯認知件数とは：

刑法犯のうち、被害届や告訴、告発、その他の端緒により、その犯罪の発生を警察が認知した事件の数を言う。

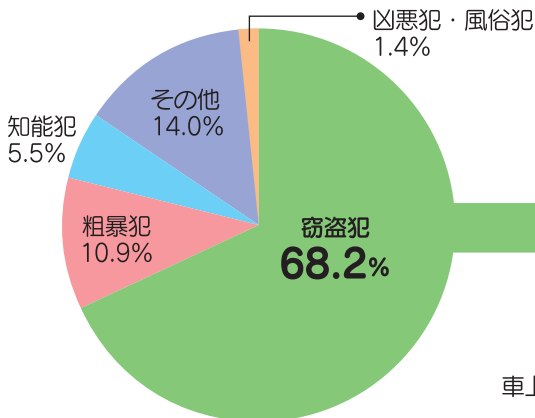
※「人口10万人当たり認知件数」の人口は、令和3年1月1日現在住民基本台帳に基づく人口を参照

データで見る犯罪情勢

■刑法犯の罪種別内訳

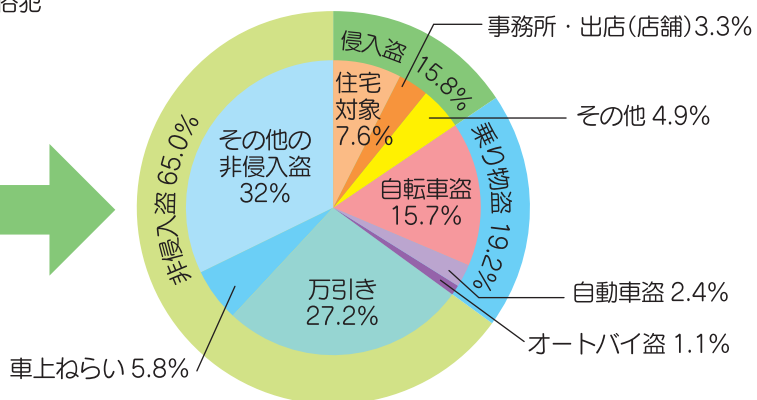
本県における刑法犯認知件数のうち、「**窃盗犯（泥棒）**」が約**7割**を占めています。

※特殊詐欺は、知能犯に含まれます。



■窃盗犯の手口別内訳

窃盗犯のうち一番多いものは「**万引き**」、次いで「**自転車盗**」、「**住宅対象侵入窃盗**」などが続いています。住宅や事務所などへの「**侵入盗**」は窃盗犯全体の約**16%**です。



刑法犯の分類

凶悪犯	殺人、強盗、放火及び強制性交等
粗暴犯	暴行、傷害、脅迫、恐喝及び凶器準備集合
窃盗犯	窃盗
知能犯	詐欺、横領、偽造、汚職、背任
風俗犯	賭博、わいせつ